「鮮緑」「サンゴ要源」で「さがほのか」を作る

吉村俊治さんはいちご作り40年のベテラン。これまでさちのか、とよのかなどを作ってきたが、さがほのかという新品種に魅力を感じるようになり、今年は契約もすませた上で28㌃に全面的に導入している。また、この人のいちご栽培技術確立に寄せる熱意と努力は並大抵ではなく、㈱丸徳の技術普及推進担当福田洋三氏の指導の下に、とくに施肥に関して熱心に研究に取り組んでいる。

熊本県宇城市
三角町郡浦2762
吉村俊治さん

去年から「さがほのか」導入

果形よく市場性評価

三角町でいちごを作っている人は50～60人ぐらいいるようだ。以前は共販をやっていた時代もあったが15年ほど前からはやめ、個人販売に変わっている。品種はさちのか、とよのかなどを作っていたが、おととしあたりからさがほのかが入り始め、去年からほとんどがこの品種に変わっている。その理由を吉村さんはこう語る。

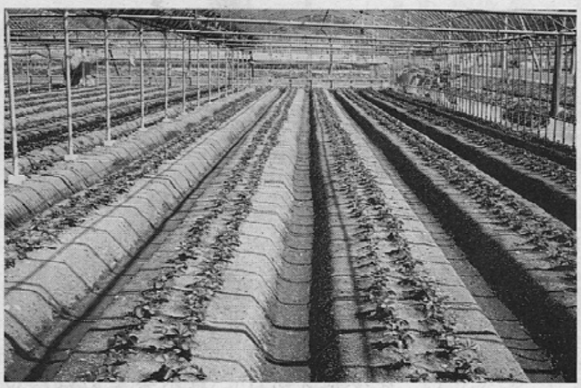
吉村俊治さん

「現在もとよのか1本でやっている人もいますけれども、さがほのかの果形のよさと味もまあまあよくて市場性もあるというのがこの品種を導入した理由です。販売単価もとよのかよりも30円ほど高いようですが、ただ短所もありまして、1番果の収量はとよのかよりも劣るみたいです。でも、果形がよいだけにパック詰めがやりやすいともいわれます」

吉村さんは去年から27㌃全部をさがほのかに変えたが、失敗でしたと正直に認める。

「収量も4㌧そこそこしか穫れず、おそらく自分としても最低のできだったと思う。この品種の発祥地でもある佐賀県やあちこち見て歩いて感じたのは、いままでのようにとよのか感覚で作ったのではだめだということがわかったんです。その点を深く反省して、今年に賭けようと思っているんです」と捲土重来を期す覚悟の吉村さんだ。

ハウスは2カ所に分れていて、1つは9月15日、もう1つは9月20日に定植をすませた。さがほのかは人気急上昇の品種でもあるが、天候の関係もあって全般に苗が不足だったといわれている。「うちはおかげで余るぐらいにできました。それは消毒に徹底を期したことと多肥によると思っていますが、それでもいままでのとよのかに比べたら肥料は少な目なんです」



９月20日定植のさがほのか。これまで締めてきたので一見貧弱だというが、太らないように抑えているのだという。これから太らせる

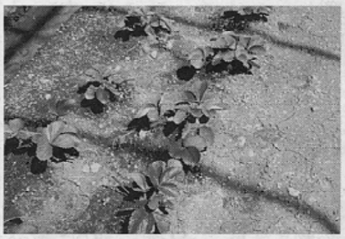
徹底して締め作り

中盤から「鮮緑」使用

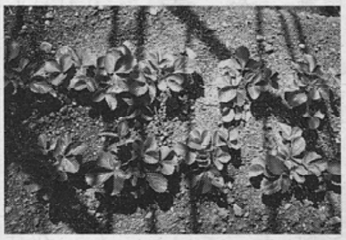
右の写真は定植して8日経過した状況だ。おそらく栃木県や関東の人が見たらびっくりするのではないだろうか。しかし、これは決して生育が遅れているせいではなく、苗を締めており、かえって太らせないようにしているのだという。

吉村さんは㈱丸徳の技術普及推進担当福田洋三氏の指導の下にいちご栽培を行っている。福田氏によれば、「これがさがほのかのもっていき方そのものだ。私が巡回する範囲においては極力小苗にしてもらっている。この苗でも水管理で11月中旬から下旬頃までには30㌘ぐらいの苗になるんです。いまの段階ではわざと太らせないようにしており、これが太り始めたら止まらなくなりますからね」

去年の反省点は展開が早過ぎて、クリスマス時分にはいちごがなかったという。つまり1番果の収穫が前へ進み過ぎたわけである。そこで、育苗と管理について聞いていみた。



９月20日定植の苗姿



９月15日定植の苗姿

鉢受けは、助っ人という方法で行っている。親株もそうだが受ける子苗にはかならずサンゴ要源をいれている。2、000鉢に1袋ぐらい、多いひとだと1株10㌘、少ない人は5㌘くらいを鉢に入れる。そうすると葉がシャキッとたった状態になる。それで育苗の中盤から後半、お盆過ぎであるが、今度は「鮮緑」という総合微量要素液肥を集中散布すると、シーズンを通してうどんこ病が出なくなる。

「鮮緑」と「サンゴ要源」はいずれもミネヒロン㈱（水戸市内原町1399）の製品で㈱丸徳（八代市岡町谷川892－1）が九州一円を対象に販売している。

サンゴ要源は前半と後半とに分けて2回ぐらい、また「鮮緑」は1週間毎日かける。見た目にはほんとうに苗は小さいが、カルシウムが効いて苗はがっちり仕上がるし、「鮮緑」で抑え込むからすばらしい苗ができる。だから写真のように肥料気が少ないように見えるかもしれないし、芽なしにならないかと心配するかもしれないが、決して芽なしにはならない。本圃にはどのように処理するかを福田氏に聞いた。

「定植したら手灌水でサンゴ要源をもう一回うち、徹底的に締める。そしてスプリンクラーでサンゴの上澄みを10日間くらいかける。10月15日頃から今度は「鮮緑」を散布する。「鮮緑」は旺盛にもっていくためのつなぎとして使用するわけだが、10月20日ぐらいから今度は太らせるために管理を変えていく」

水では締めず

カルシウム系統で

「チッソは使わずに、私どもの会社で取り扱っているフミン酸活性液の「ヒューミックエース」を2回ぐらい施用すると急激に太る。これはリン酸の固定を防ぎ、根からの吸収を促進するはたらきをする。だから、あと10日もすると、いまの倍くらいになりますけど、それまでは徹底して締めていく。

ただし、水では締めない。この苗はちょっと乾き気味だけれども、水ではなくてカルシウム系統でやる。水はたっぷりやりながらチッソをどうにか止めるように抑えていく。さがほのかという品種はとよのかと違って濡た状態にもっていくのがコツです。

とよのかの場合は、この辺では地干しというんですが、マルチ前に上を乾かし、根を深く張らせるんですけれども、さがほのかはちょっと油断をするとすぐに太りますからそれをどうにかして抑えようということだ。ちょっと過激な使い方かもしれませんけれども、サンゴとかのカルシウム資材を初期に使うのはそのためです」

（4メンにつづく）

応援します、土づくり。
人に安心・地球に安心・あしたに安心
《新商品》ハイグレード　草炭ペレット　地力保全研究会推奨品
プロカルチャー
地力増進法適合資材。植物天然有機100%　高品質草炭を厳選した濃縮型土壌改良材
《新商品》海の幸ぼかし肥料
錦（にしき）　６６４
肥効が長続き。均一散布がしやすいペレットタイプ
カトー特号684
アニトップ1号・2号
オーガライザー®763
ネニソイル®
栃木県共同研究・共同特許
㈱加藤工業所　肥料部
〒322-0033 栃木県鹿沼市府所町20番地
☎0289-65-3121（代表）　FAX0289-65-3124

信頼のヒロマーク　http://www.toto-vp.com
フィルム止めの定番！
ヒロ　ニュービニペット®
■防虫ネットやフィルムを重ねて止められます
　ヒフクスプリングの場合、3本余裕で使用できます
■フィルムに優しくしっかりと止めます
サビに強い透明のバリア
サビに強いブルーのバリア
ヒフクスプリング
全面が樹脂コーティングされている
ヒフクは黒
新発想・新提案
東都興業株式会社
東京都中央区京橋1-5-12　マルヒロ京橋ビル　☎03-3245-1010
大阪市浪速区湊町1-4-38　近鉄新難波ビル　☎06-6646-1010
福岡市博多区博多駅東2-15-19　KS駅東ビル　☎092-476-1010
仙台市青葉区大町1-4-1　明治安田生命仙台ビル　☎022-726-1010
製品についてのお問い合せは
☎0120-37-4431もしくは
✉eigyou@toto-vp.com